



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社オカムラ食品工業 上場取引所 東
コード番号 2938 URL <http://www.okamurashokuhin.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 岡村 恒一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 谷口 耕太 (TEL) 03-3666-2333
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	8,450	3.2	1,149	△5.4	1,246	7.9	864	△6.7
2025年6月期第1四半期	8,191	19.6	1,215	4.4	1,155	△10.5	927	0.9

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 1,282百万円(3.2%) 2025年6月期第1四半期 1,242百万円(6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	17.48	17.34
2025年6月期第1四半期	19.11	18.92

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割及び2025年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	56,221	17,217	30.6
2025年6月期	41,271	16,043	38.9

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 17,217百万円 2025年6月期 16,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	19.00	—	9.50	—
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2025年6月期の第2四半期末配当金19.00円は当該株式分割前の1株当たり配当金額を、期末配当金9.50円は株式分割後の1株当たり配当金額を記載しています。当該株式分割を考慮しない場合の2025年6月期の1株当たりの年間配当金合計は38.00円となります。また、2025年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、2026年6月期(予想)の年間配当金8円は株式分割後の1株当たり配当金額を記載しています。

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,035	10.4	3,813	26.2	3,594	27.7	2,577	27.5	52.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年6月期1Q	49,655,244株	2025年6月期	49,213,884株
2026年6月期1Q	1,080株	2025年6月期	1,080株
2026年6月期1Q	49,482,624株	2025年6月期1Q	48,498,978株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割及び2025年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の経営成績の状況の概要は次のとおりです。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内の設備投資意欲が旺盛であることや家計の所得環境の改善等から緩やかな回復傾向となっており、日米関税交渉合意等により前連結会計年度に見られたような為替相場の乱高下のリスク等は一定の落ち着きをみせています。また、当社グループの主な事業地域である東南アジアの経済環境は、堅調な内需外需により好調に推移しています。

当社グループの事業におきましては、中期経営目標2030において、国内養殖量の拡大と海外卸売事業売上の拡大を最重要課題として位置付けています。当第1四半期連結累計期間において、国内の養殖事業は、地方自治体との養殖場適地開発の協力強化や、中間養殖場の建設が順調に進みました。また、海外卸売事業については、東南アジア諸国の旺盛な経済需要を基に事業拡大傾向が継続しています。当第1四半期連結累計期間全体としては、海外加工事業においてハラス等の原料価格状況に応じて値上げしたことから売上高減少があったものの、その他の各事業は概ね順調に推移しています。

その結果、売上高は8,450百万円（前年同期比103.2%）、営業利益は1,149百万円（前年同期比94.6%）、経常利益は1,246百万円（前年同期比107.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は864百万円（前年同期比93.3%）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（養殖事業）

国内においては、販売単価の上昇と規模拡大によるコストメリットによる製造原価の低下の受け堅調に推移しました。また、海外においては、前連結会計年度からの繰越在庫の販売は順調に推移したものの、現地でのいくら加工の生産調整による一時的な製造原価増加や、人員採用に伴い人件費が増加しました。

なお、養殖事業には国際財務報告基準（IFRS）を採用する海外子会社が含まれている関係上、養殖事業の損益には、IAS第41号「農業」に従った売却コスト控除後の公正価値により評価した結果（売上原価△617百万円）が含まれております。

以上の結果として、売上高は1,359百万円（前年同期比104.4%）、セグメント利益は558百万円（前年同期比91.9%）となりました。

（単位：百万円）

売上高		1,359
営業費用	材料費、人件費、販管費等	1,418
小計（公正価値評価損益を除いたセグメント損益）		△58
営業費用	公正価値評価損益	617
合計（セグメント損益）		558

（国内加工事業）

いくら、筋子については、北海道秋鮭不漁等による国内材料不足により販売価格相場が上昇、その中において、当社は一定の在庫を確保していたことにより、取引先に安定して製品の供給ができたことで販売量が堅調に推移いたしました。また、契約単価の見直しや相対的に利益率の高いいくら商品の販売割合が増加したこと等により利益率は改善しています。

以上の結果として、売上高は2,534百万円（前年同期比108.3%）、セグメント利益は465百万円（前年同期比134.7%）となりました。

（海外加工事業）

サーモンハラスの原料不足は継続しており、為替や仕入相場の影響によるハラス含めた原料価格上昇に対して値上げを実施した結果、製品及び商品の販売量が減少し、加えて価格転嫁が追い付かなかったことから粗利率が低下しました。また、従業員数の増加による人件費増加等の影響により販売費及び一般管理費が増加いたしました。

以上の結果として、売上高は3,139百万円（前年同期比96.7%）、セグメント利益は144百万円（前年同期比52.5%）となりました。

(海外卸売事業)

東南アジア諸国における日本食マーケットの拡大を背景に、当事業は拡大を続けています。当第1四半期連結累計期間においてもこの傾向は継続しており、販売量は堅調に推移しました。

以上の結果として、売上高は3,177百万円(前年同期比111.3%)、セグメント利益は173百万円(前年同期比121.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の財政状態の概要は次のとおりです。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は44,711百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,384百万円増加いたしました。主な要因としては、養殖事業において海外子会社の棚卸資産の公正価値評価を行ったこと等により仕掛品が2,294百万円増加したこと、国内加工事業において魚卵の仕入を進めたこと等により原材料及び貯蔵品が10,835百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は11,509百万円となり、前連結会計年度末に比べ565百万円増加いたしました。主な要因としては、養殖用設備への投資等で有形固定資産に含まれる建設仮勘定が150百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、総資産は56,221百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,949百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は34,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,149百万円増加いたしました。これは主に、原材料の仕入にかかる支払手形及び買掛金が3,388百万円増加したことや、仕入に向けた運転資金として短期借入金が10,460百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は4,817百万円となり、前連結会計年度末に比べ374百万円減少いたしました。

以上の結果、負債合計は39,003百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,775百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は17,217百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,174百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を864百万円計上したこと等により利益剰余金が702百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,416	6,725
売掛金	4,599	3,535
商品及び製品	8,395	7,827
仕掛品	1,922	4,216
原材料及び貯蔵品	7,070	17,905
未収入金	3,454	3,888
その他	469	614
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	30,327	44,711
固定資産		
有形固定資産	10,104	10,638
無形固定資産	259	315
投資その他の資産	580	556
固定資産合計	10,944	11,509
資産合計	41,271	56,221
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,823	5,211
短期借入金	11,696	22,157
1年内返済予定の長期借入金	954	1,381
未払法人税等	382	322
賞与引当金	—	25
株主優待引当金	67	—
有償支給取引に係る負債	3,440	3,884
その他	1,672	1,204
流動負債合計	20,036	34,186
固定負債		
長期借入金	3,388	2,748
退職給付に係る負債	131	136
その他	1,672	1,932
固定負債合計	5,191	4,817
負債合計	25,228	39,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161	1,189
資本剰余金	2,770	2,797
利益剰余金	11,601	12,303
自己株式	△0	△0
株主資本合計	15,532	16,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16	△10
為替換算調整勘定	526	937
その他の包括利益累計額合計	510	927
純資産合計	16,043	17,217
負債純資産合計	41,271	56,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	8,191	8,450
売上原価	5,907	6,089
売上総利益	2,283	2,361
販売費及び一般管理費	1,067	1,211
営業利益	1,215	1,149
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	24	4
為替差益	—	83
助成金収入	25	27
補填金収入	49	41
その他	12	12
営業外収益合計	111	169
営業外費用		
支払利息	55	70
為替差損	115	—
その他	0	2
営業外費用合計	171	72
経常利益	1,155	1,246
特別利益		
負ののれん発生益	—	20
特別利益合計	—	20
税金等調整前四半期純利益	1,155	1,266
法人税、住民税及び事業税	77	231
法人税等調整額	150	169
法人税等合計	228	401
四半期純利益	927	864
親会社株主に帰属する四半期純利益	927	864

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	927	864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	6
為替換算調整勘定	319	411
その他の包括利益合計	315	417
四半期包括利益	1,242	1,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,242	1,282
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2024年7月1日 至2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結財務諸 表計上額 (注2)
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	886	2,227	2,220	2,855	8,191	—	8,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	415	113	1,025	—	1,554	△1,554	—
計	1,302	2,340	3,246	2,855	9,745	△1,554	8,191
セグメント利益	607	345	274	142	1,369	△154	1,215

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去が37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用
△192百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2025年7月1日 至2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結財務諸 表計上額 (注2)
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,006	2,268	2,011	3,164	8,450	—	8,450
セグメント間の内部 売上高又は振替高	352	266	1,127	12	1,760	△1,760	—
計	1,359	2,534	3,139	3,177	10,210	△1,760	8,450
セグメント利益	558	465	144	173	1,340	△190	1,149

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去が34百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用
△225百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年7月1日 至2025年9月30日)
減価償却費	329百万円	355百万円

(収益認識関係)

前第1四半期連結累計期間(自2024年7月1日 至2024年9月30日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期 連結財務諸 表計上額
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
日本	698	2,178	2,608	—	5,485	△897	4,588
アジア	53	162	1,069	2,859	4,145	△1,092	3,053
その他	549	—	—	—	549	—	549
調整額(注)	△415	△113	△1,457	△3	△1,989	1,989	—
顧客との契約から生じる 収益	886	2,227	2,220	2,855	8,191	—	8,191
外部顧客への売上高	886	2,227	2,220	2,855	8,191	—	8,191

(注)「調整額」は、連結子会社間で生じた取引による売上高消去が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自2025年7月1日 至2025年9月30日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期 連結財務諸 表計上額
	養殖 事業	国内加工 事業	海外加工 事業	海外卸売 事業	計		
売上高							
日本	702	2,470	2,357	12	5,542	△973	4,569
アジア	12	64	1,117	3,172	4,367	△1,131	3,236
その他	644	—	—	—	644	—	644
調整額(注)	△352	△266	△1,464	△21	△2,104	2,104	—
顧客との契約から生じる 収益	1,006	2,268	2,011	3,164	8,450	—	8,450
外部顧客への売上高	1,006	2,268	2,011	3,164	8,450	—	8,450

(注)「調整額」は、連結子会社間で生じた取引による売上高消去が含まれております。